

「愛のムチゼロ作戦」 取り組みを問う

答 本町でも啓発活動行っている

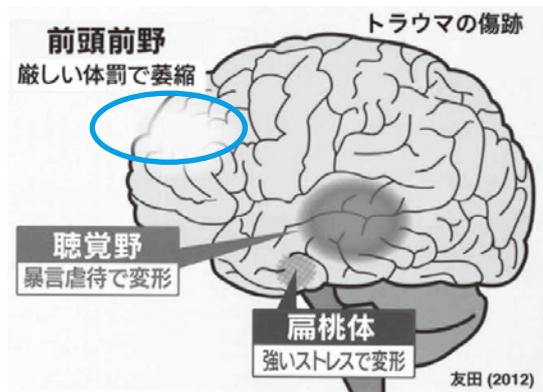


問 「愛のムチゼロ作戦」は具体的にとどのように取り組んでいるか。

副町長 「愛のムチゼロ作戦」は、こども家庭庁が啓発している児童虐待防止キャンペーンである。5つのポイント「子育てに体罰や暴言を使わない」「子どもが親に恐怖を持つとSOSを伝えられない」「爆発寸前のイライラをクールダウン」「親自身がSOSを出そう」及び「子どもの気持ちと行動を分けて考え、育ちを応援」である。



こども家庭庁動画



マルチトリートメント(不適切な対応を受けた脳)

問 体罰によるマルチトリートメントで、児童生徒の脳(心)にどのような悪影響があるか。

副町長 体罰や暴言は、脳を傷つけ、子どもの精神面や行動面に悪影響を及ぼす。



伊佐 園恵 議員

問 児童虐待防止法及び児童福祉法を知らなかったという方が8割。「体罰は百害あって一利なし」、というのも研究結果でわかっている。こども家庭庁の動画でわかりやすく視聴することができ。社会全体で新しい子育てに変えていくことが大切である。また、育児中の閉塞感等を含め、行政として広報してもらいたいかどうか。

こども課長 HP掲載、広報誌でも今後掲載する。窓口通報などがあった場合は「189(いちちはやく)」という全国展開のダイヤルの周知等、引き続き継続していく。

「いじめ」対策専門の課や班の設置を

問 寝屋川市監察課のような「いじめ」対策の専門の課や班は設置可能か。

副町長 今後、必要となった場合は、先進事例を参考にする。

子どもの権利が反映される町の計画はあるか

問 子どもの権利が反映される計画はあるか。

副町長 今年度こども計画を策定し、子どもの権利に関する項目を盛り込んでいる。

問 「子どもの権利」の4つの原則は。

副町長 「差別の禁止」「子どもの最善の利益」「生命、生存及び発達に関する権利」「子どもの意見の尊重」である。

一こんな質問もしました
・女性デジタルスキルアップ講座を問う